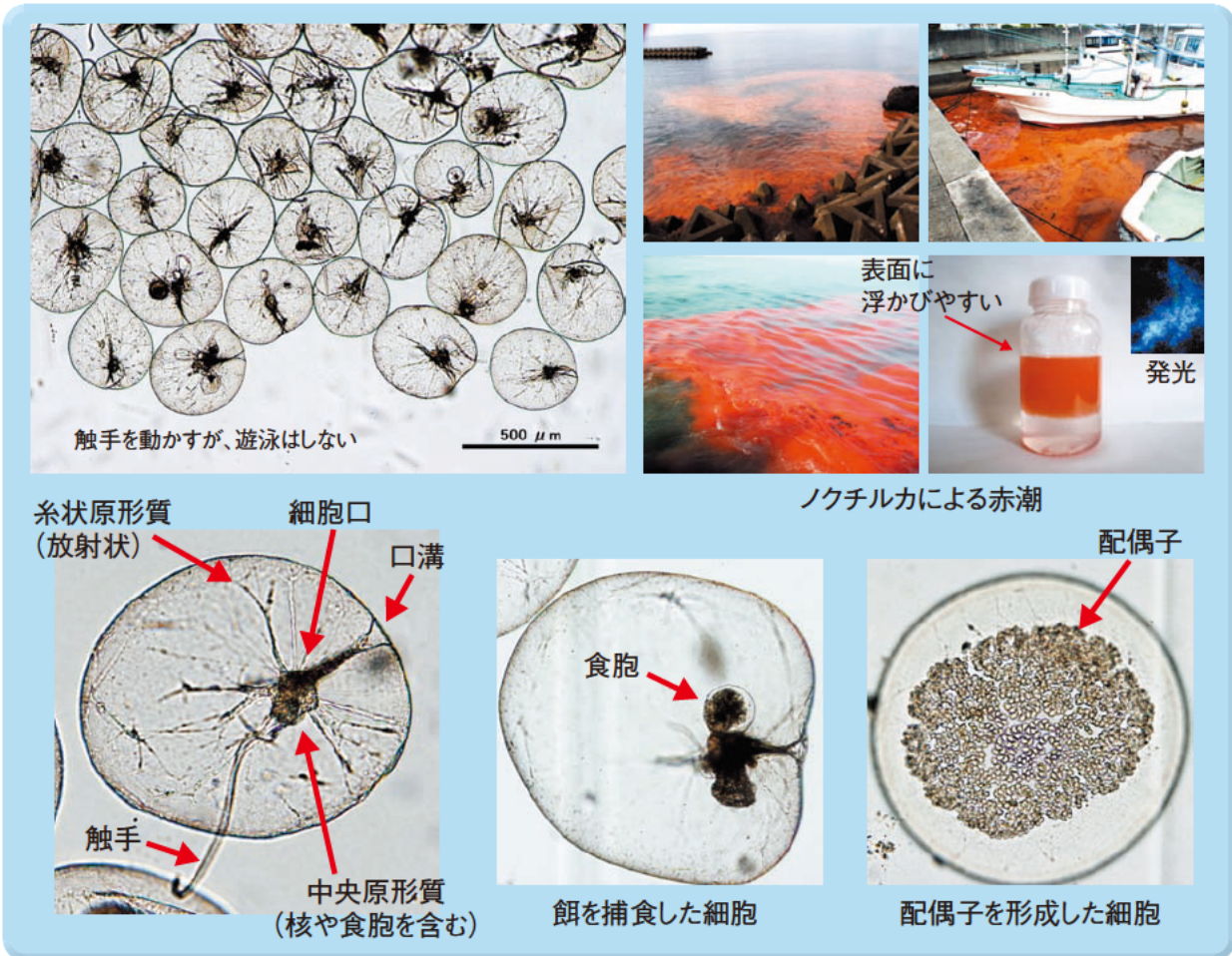


# ノクチルカ シンチランス (渦鞭毛藻)

(*Noctiluca scintillans*)

動画



**大きさ** 直径100~2,000μm

**形態** 色は透明~薄いピンク色。細胞は大きく、球形で、風船のような形をしている。殻や葉緑体はもっていない。口溝(くちみぞ)の奥に細胞口(さいぼうこう)があり、その近くから大きな触手が伸びている。この触手を動かして餌を捕まえて細胞口に運ぶ。細胞口周辺の原因質が集中した部分は中央原形質(ちゅうおうげんけいしつ)と呼ばれ、核や食胞などが含まれる。中央原形質からは糸状原形質(いとじょうげんけいしつ)が放射状に伸びる。

**動き** 遊泳しない。触手をゆっくりと動かす様子が観察できる。

**その他** 夜間に発光する最も代表的なプランクトンで、夜光虫とも呼ばれる。夜間に刺激を受けると青白い光を発する。通常は細胞分裂によって増えるが、配偶子を形成して一気に数を増やすこともある。

**漁業への影響**：魚類をへい死させることは稀である。ただし、細胞内に大量のアンモニアを含んでいるため、アンモニアに弱いイカなどの軟体動物に対しては極めて有害で、注意が必要である。

**漁業被害**：三重県沿岸では、毎年のように赤潮が発生しているが、漁業被害は発生していない。

**発生海域**：伊勢湾~熊野灘沿岸

**発生時期**：周年(春季~秋季中心)